

柏葉脳神経外科病院広報誌／季刊

かしわば

Vol. 29

2011.1

Kashiwaba Neurosurgical Hospital

**世界水準の医療を
受けられる病院を目指して**

柏葉脳神経外科病院 理事長／院長 金子 貞男

部門レポート／A館2階病棟

特定医療法人
柏葉脳神経外科病院

KASHIWABA Vision 2011

世界水準の医療を受けられる病院を目指して

柏葉脳神経外科病院
理事長／院長 **金子 貞男**



**40周年を迎える今年は
新たな覚悟で
脳の高度専門医療に
取り組みます**

今年4月、当院は開院40周年を迎えます。

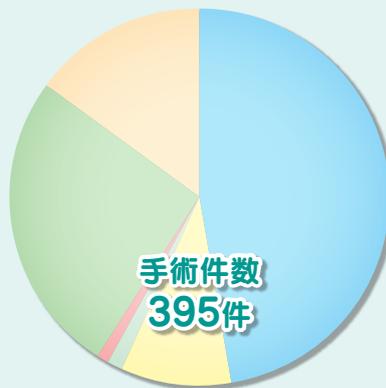
現在、名誉理事長を務める柏葉武が、当院を1971年に開院した当時の職員数は10人。そして40周年というステージに立つ職員数は約230人です。全職員が力を合わせ、同じ目的に向かって進むことが、さらに、次の大きなステージをつくるのだと考えています。

2010年のノーベル化学賞を鈴木章北海道大学名誉教授が受賞したことは、まだ記憶に新しいですが、北海道出身者が世界に誇れる仕事を成し遂げたことに敬意を表するとともに、「北海道から世界を目指す」というメッセージだったと受け止めています。

私たちは40年間、安全で安心いただける医療のサービスに徹してきました。そして、その一貫として常に高度専門医療に取り組み前進してきました。その歴史を自信に変え、近隣の病院・診療所と協力しながら、誰もが必要ときに世界水準の医療を受けることができる病院を目指して、これからも尽力するつもりです。

2011年も、どうぞよろしくお願いたします。

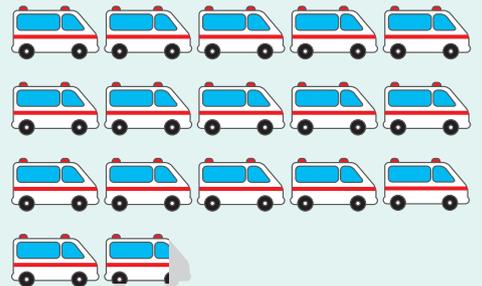
手術件数統計



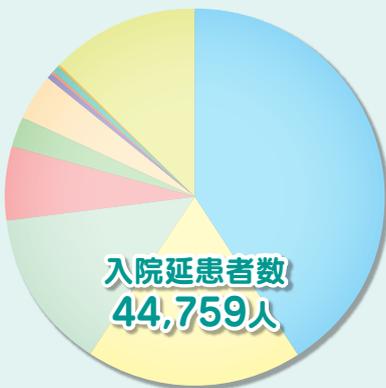
原因	(%)	原因	(%)
脳血管障害	47.3	機能的外科	1.0
脳腫瘍	9.4	外傷	26.1
脊椎脊髄外科	1.3	その他	14.9

救急医療統計

救急車搬送患者数
1,673人



= 100人



地域	(%)	地域	(%)
豊平区	40.9	東区	0.5
清田区	18.4	西区	0.2
白石区	13.7	北区	0.6
南区	6.3	手稲区	0.2
中央区	2.6	その他	12.6
厚別区	4.0		

最先端医療への取り組み

悪性脳腫瘍に対する 光線力学療法への期待

以前より当院で積極的に取り組んでいる「悪性脳腫瘍に対する光線力学療法」は、レーザー光に反応する薬剤(ALA)を腫瘍に集積させた後にレーザー光線を当て、手術中に簡単に脳腫瘍と正常脳を肉眼で区別して摘出し、さらに内部から腫瘍を破壊する治療法です。

まだ日本では保険適用になっていない、この治療の臨床試験が、ようやく日本で始まりました。一日も早く保険適用になることを願っています。

柏葉脳神経外科病院では、24時間365日最善の治療を行えるよう、2011年も設備の充実と技術の向上に努めます。

- 医療安全管理室を院長直轄組織として新たに設置し、活動を活性化させます。
- 質の良い看護を提供するため、新人や中途採用看護師のスキルアップを目的とする専任教育担当者を春から配置します。
- 4つの専門外来「セカンド・オピニオン外来」「もの忘れ外来」「脳動脈瘤外来」「脊髄外来」において専門診療を強化します。
- 365日実施しているリハビリテーションの質を更に向上させます。
- バーコードによる患者認証システムをより活用し、医療の質を向上させます。

経皮経管的脳血栓回収用機器による 脳梗塞治療

脳梗塞発症後3時間以内に脳血栓を溶かす「tPA療法」を受けることができなかったり、tPA療法を受けても治療効果がなかった患者さんを対象に、経皮経管的脳血栓回収用機器「Merciリトリーバー」を使って脳血栓を取り出す治療を、昨年11月から当院で開始しました。

「Merciリトリーバー」は、昨年10月に保険適用された機器で、カテーテルという細い管を足の付け根から動脈内に挿入して脳の動脈まで導き、血栓を引っかけて回収し、詰まった血管の再開通を図るものです。

当院では、より正確に血管内治療を行うことができる最先端の血管造影装置INFX-8000Vを導入しました。

血管造影装置(INFX-8000V)

高い精度の高画質3次元血管画像で脳の血管内治療をサポートします

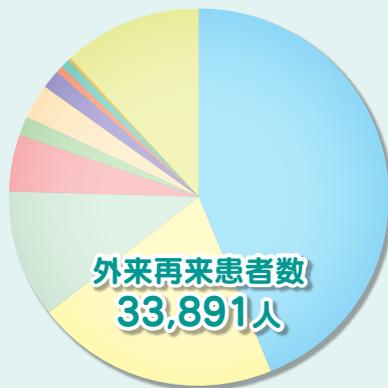


柏葉脳神経外科病院 2010年実績

来院者数統計(地区別)



地域	(%)	地域	(%)
豊平区	49.2	東区	1.3
清田区	20.1	西区	0.6
白石区	10.2	北区	0.8
南区	4.0	手稲区	0.3
中央区	1.9	その他	9.5
厚別区	2.3		



地域	(%)	地域	(%)
豊平区	43.8	東区	1.6
清田区	20.7	西区	0.6
白石区	11.0	北区	0.8
南区	4.9	手稲区	0.2
中央区	1.6	その他	11.8
厚別区	3.0		



地域	(%)	地域	(%)
豊平区	44.8	東区	0.8
清田区	19.8	西区	0.2
白石区	11.7	北区	0.6
南区	5.6	手稲区	0.2
中央区	1.9	その他	11.1
厚別区	3.3		

病院の理念

私たちは、安全で安心いただける医療のサービスに徹し、患者さんの幸せを守ります

病院の基本方針

- 患者さんにとって、思いやりのある最善の医療に全力をつくします
- 医師とスタッフによる説明と、患者さんの理解と選択に基づく医療を実践します
- 患者さんの意志とプライバシーを尊重します
- 医療従事者として、常に、豊かな人間性と技術の向上をめざします
- 救命・救急医療から心と体のリハビリテーションまで、脳の総合病院をめざします
- 地域医療機関との強力な連携をはかり、よりダイナミックな医療のサービスを提供します

患者さんの権利

- 患者さんは、平等で、安全な医療を受ける権利があります
- 自分の診療にかかわる人々の氏名と役割を知る権利があります
- 自分の病気・治療・予後について知る権利があります
- 治療について承諾・拒否する権利があります
- 自分の診療について、他医師の意見（セカンドオピニオン）を得る権利があります
- 自分のプライバシーを守る権利があります
- 公的援助、地域サービスに関する情報を知る権利があります
- 病院職員に対して、意見・苦情を伝える権利があります

柏葉脳神経外科病院

部門レポート

A館2階病棟

看護科長…工藤良子
看護師…33人
助手…12人

精神的・心身的サポートを積極的に行う亜急性期病棟

急性期治療を終えた患者さんを看護

脳血管障害の手術や緊急処置などの急性期治療を終えた亜急性期の患者さんが、機能回復を目的とした治療やリハビリを受ける49床の病棟です。

患者さんは、意識障害や運動障害、嚥下障害などを重複しています。脳血管障害の治療に加えて、内科的疾患や誤嚥性肺炎、褥瘡などの合併症の予防・治療、生活機能を回復させるリハビリテーションなど、すべてに同時に力を注いでいく必要があります。病棟看護師と専属のリハビリテーションスタッフが連携し、

「寝たきりにしない」という明確な目的意識を持って、患者さんをサポートしています。



工藤良子看護科長

レクリエーションや重度後遺症を抱える患者さんの週3回入浴を実施

工藤良子科長は、「患者さんの障害の段階を看護師が把握し、個々を尊重し、安全に配慮しながら、実質的なQOLの向上につながる看護を行っています」と話しています。

具体的には患者さん参加型のレクリエーションや口腔ケア、腹臥位療法などを実施し、効果をあげていますが、さらに2010年7月から始めたのは、重度後遺症を抱える患者さんへの週3回の入浴です。「3年前まで週1回だったものを段階的に増やしました。ベッドでは見られない笑顔や反応があり、患者さんにとって良い刺激になっていることを実感しています」。

入院患者さん7人に1人の看護師を配置するゆとりある7対1看護体制で、重度の後遺症を抱えた患者さんに根気強くアプローチする看護に努めています。



笑顔や笑い声がたくさんのレクリエーション



新年の挨拶が終わったと思つたら、もつ3週間が過ぎてしまいました。厳しい寒さが続いており、皆さんいかがお過ごしでしょうか。今時期気になるインフルエンザは、札幌ではわりと落ち着いているようですが、道内では警報や注意報が出ている所もみられます。体調管理には十分ご留意ください。今年もどうぞよろしくお願ひ致します。(小川)